

新JAIRO Cloud (WEKO3) への 移行実証実験報告

オープンアクセスリポジトリ推進協会
コンテンツ流通促進作業部会JAIRO Cloudチーム

はじめに

共用リポジトリサービス「JAIR Cloud」は、機関リポジトリシステム環境を550以上の機関に提供しているクラウドサービスです。このJAIR Cloudメジャーバージョンアップに伴う「新JAIR Cloud移行評価実験」の現状について報告します。

講演の内容

1. 新JAIR Cloud移行評価実験とは
2. JAIR Cloudユーザからみた新JAIR Cloud
3. アイテムの移行について
4. ワークフロー操作・アイテム登録について
5. 新JAIR Cloudの画面について
6. その他の機能について

新JAIRO Cloud移行評価実験とは

新JAIRO Cloudへのリプレイスと移行実験

- 2020年10月にメジャーバージョンアップ
 - 2012年度のサービス開始から初、WEKO2からWEKO3へ
 - NetCommonsから、独自の画面デザインシステムへ
 - junii2から、JPCOARスキーマへ
 - 検索エンジンをElasticsearchに
 - 研究データ対応
 - ほか
- 大がかりなアップデートのため、データの移行が必要
 - 万全を期すためデータ移行実験実施が必要
 - NIIとJPCOARとの共同による
 - 2019年9月から12月末までの予定(評価環境を使っでの評価は10月8日から)

JPCOARのJAIRO Cloudチームと移行評価実験参加機関

- コンテンツ流通促進作業部会のJAIRO Cloud利用機関部会員が実験参加
- うち4名のJAIRO CloudチームがNIIと共同で実験をとりまとめ
- JPCOAR会員機関に、実験参加を依頼
 - 参加機関数が少ないままだと評価が偏る弊害がある
 - 機関種別・登録コンテンツ数・登録資料種別・画面デザインなどバリエーションを考慮し、打診
 - 打診をした**全機関**からご協力の回答あり！

移行評価実験参加機関一覧(17機関)

- コンテンツ流通促進作業部会から参加
 - 上越教育大学
 - 東京大学
 - 名古屋大学
 - 沖縄科学技術大学院大学
 - 筑波大学
 - お茶の水女子大学
- 作業部会からの協力依頼により参加
 - 宮城教育大学
 - 横浜国立大学
 - 信州大学
 - 首都大学東京
 - 田園調布学園大学
 - 近畿大学
 - 甲南大学
 - 神戸女学院大学
 - 国立教育政策研究所
 - 国際日本文化研究センター
- コミュニティ強化・支援作業部会

実験の進め方

- 各実験参加機関にNIIによる移行評価環境及びドキュメントの提供
 - 10月8日から評価環境での評価開始
 - 当初の評価環境では対象アイテムタイプを限定
 - 画面デザインの移行は次のステップで
- 不具合・要望・質問等を課題管理ツール”Backlog”に投稿
 - JAIRO Cloudチームを含め参加機関全体でフォロー
 - NIIがウオッチし、不具合の改修の手配を行う
- 希望者参加のテレビ会議によるWEKO3の学習・課題フォロー
 - 第1回 9月4日(火) 13:00-15:00
 - 第2回 10月10日(木) 10:00-12:00
 - 第3回 10月31日(木) 10:00-12:00

現時点までの実験活動概要

2019/10/8～2019/11/6 の期間に登録された課題数

- 当面の重点課題は「アイテムの移行」
- それにとどまらず(NII開発中の機能を含め)積極的に評価活動が行われている

分類 (Backlog親課題)	登録課題数
新JAIRO Cloud移行環境への接続	4
アイテムの移行 ※当面の重点課題	17
インデックスの移行	3
著者データ	2
メイン画面(キーワード検索、インデックス、アイテムリスト表示)	11
アイテム詳細ページのデザイン	11
ワークフローの操作、アイテムの登録	9
ユーザアカウントの移行	1
メニューの構成	0
画面デザイン構築	15
NII提供マニュアルについて意見	0
その他	11

JAIRO Cloudユーザからみた新JAIRO Cloud

ワークフローとアイテムタイプ

- ・ アイテム登録時にはまずワークフローを選択
- ・ フロー（処理の流れ） + アイテムタイプ = ワークフロー
- ・ フローもアイテムタイプも各機関でカスタマイズ可
- ・ アイテム登録後の別アイテムタイプ切替が可能に（開発中）
- ・ アイテムタイプをそのまま資源タイプ(dc:type)の変更に

フロー

フローA

フローB

フローC



アイテムタイプ

学術雑誌論文 / Journal Article

紀要論文 / Departmental Bulletin Paper

学位論文 / Thesis or Dissertation



ワークフロー

WEKO3の操作性 ～WEKO2の踏襲と変化～

- WEKO2を踏襲
 - アイテム個別登録は、メイン画面のタブメニューからステップを進める形式
 - インデックスツリーの設定項目はWEKO2を踏襲しているので、なじみやすそう
 - インデックスツリー編集画面例(右)では、従来どおりインデックスツリーのドラッグ&ドロップによる操作性を踏襲
- WEKO2から変化
 - アイテム入力画面がJPCOARスキーマ対応
 - システム管理機能は、WEKO2のタブメニューから、ユーザ画面のサイドメニューへ
 - 画面デザイン構築の操作を一新

WEKO3のインデックス編集画面例

WEKO3におけるインデックス編集画面例

アイテムの移行について

Junni2マッピングによるアイテムの移行

アイテムタイプ選択 マッピング設定 確認				
アイテムタイプ: 学術雑誌論文 / Journal Article Journal Article				
メタデータ名	入力タイプ	Dublin Core	junii2	表示言語
タイトル	テキスト	title	title/alternative	日本語
タイトル(英)	テキスト	title	title/alternative	英語
言語	選択式(プルダウン)	language	language	指定なし
公開日	日付	date	date	指定なし
キーワード	テキスト	subject	subject	日本語
キーワード(英)	テキスト	subject	subject	英語
その他(別言語等)のタイトル	テキスト	title	alternative	指定なし
著者	氏名	creator	creator	日本語
著者(英)	氏名	未設定	未設定	英語
著者ID	テキスト	identifier	identifier	指定なし
抄録	テキストエリア	description	description	指定なし
内容記述	テキストエリア	description	description	指定なし
書誌情報	雑誌名	identifier	jtitle	日本語
	雑誌名(英)		jtitle	英語
	巻		volume	指定なし
	号		issue	指定なし
	開始ページ		page	指定なし

現JAIRO Cloudのアイテムタイプ設定例

Item Type List: 学術雑誌論文 / Journal Article(1) Schema List: jpcoar_mapping

Item Type(Parent): Schema(Parent): creator

内容記述: description

書誌情報: issue, pageStart, volume

内容記述(Child): description(Child)

内容記述タイプ: description.@descriptionType

言語: description.@xml:lang

内容記述: description

新JAIRO Cloudの学術雑誌論文用標準アイテムタイプ
(JPCOARスキーマがベース)

パッと見は「全部移行できている」ように見える

- ✓ JPCOARスキーマ対応はできている
- ✓ PDFは問題無く、ダウンロードできる
- ✓ デフォルトのアイテムタイプを利用している機関も、独自のアイテムタイプを利用している機関も、移行できていそう

とはいえ「変更になった箇所」や「これから対応」のところもある

- 変更になった箇所

- ✓ WEKO2で使っていたメタデータ項目名が統一されている（別個にjunii2のdescriptionにマッピングしていた「抄録」と「内容記述」が「内容記述」にまとめられる等）

- これから対応

- ✓ Junii2マッピング設定のない項目が移行されていない
- ✓ 「ライセンス情報」や「発行年」などが移行されていない
- ✓ PDFカバーページがついていない

みつけた不具合はNIIが対処中！

- ✓ 不要になったWEKO著者IDが移行されている
- ✓ エンバーゴ設定しているファイルが公開になっている
- ✓ アイテム中に抄録 (abstract) が繰り返し表示されるケースがある
- ✓ 元データにないSHERPA/RoMEOのリンクが追加されている
- ✓ 「本文へのリンク名」で設定した名称が消えている (PDFのファイル名称となっている)

今後への期待

- 今後の移行実験での対象アイテムタイプ及びデータ項目増加
- 移行を機にしたアイテムタイプの修正や統合
- 移行後に各機関で、(JPCOARスキーマに「より」準拠するなど)データを一括修正するための機能の充実

ワークフロー操作・アイテム登録について

ワークフロー

- WEKO2より大幅変更
- Flow (Actionの実行順序、実験権限を付与したもの)が追加された新Workflowとなる
- FlowとWorkflowで様々なバリエーションが可能

	ワークフロー項目	現ワークフロー	アイテムタイプの選択	Flow	新 Workflow
WEKO2	登録中: 自分が登録中の状態	登録中→承認待→承認済 承認あり又は承認なしの2種類の一連の流れしかない	登録中のワークフローからアイテムタイプを選択 →ワークフローとアイテムタイプの選択は不可		
	承認待: 自分が登録を完了し、自分以外の人の承認待ちをしている状態				
	承認済: 自分以外の人承認した状態				
WEKO3	To Do: 自分(のロール)でアクションを起こすアクティビティ		ワークフローの作成時にアイテムタイプを選択	初期状態ではStartとEndのみ。 それにアクション登録画面において Item registration やApproval などのアクションの追加やロール(ユーザー)の指定が可能	アイテムタイプ+フロー (アイテムタイプとフローを1つずつ選んでワークフローを作成する) →担当するロール(ユーザー)ごとに複数のアクションの設定が可能 例) <ul style="list-style-type: none"> • To Do • To Do →Wait • To Do →Wait→別のロールのTo Do
	Wait: 自分(のロール)以外でアクションを起こすアクティビティ				
	All: 自分が関連するすべてのアクティビティ(To Do とWaitの両方の情報が表示される)				

Flow登録

Flow Name Registration Flow

Flow Update 2019-10-30

Flow Author info@inveniosoftware.org

Flow Status Available

Save

Delete

Action List

+ More Action

Order	Name	Action Role	Action User	Change Order
1	Start	<input type="text"/> <input type="checkbox"/> Deny	info@inveniosoftware.org <input type="checkbox"/> Deny	^ v
2	Item Registration	<input type="text"/> <input type="checkbox"/> Deny	info@inveniosoftware.org <input type="checkbox"/> Deny	^ v
3	Approval	<input type="text"/> <input type="checkbox"/> Deny	info@inveniosoftware.org <input type="checkbox"/> Deny	^ v
4	End	<div> <input type="checkbox"/> Deny <div> System Administrator Repository Administrator Contributor Community Administrator </div> </div>	info@inveniosoftware.org <input type="checkbox"/> Deny	^ v

< Back

Save

Workflow登録

WorkFlow Enter the Workflow name

Flow Registration Flow

Item Type 学術雑誌論文 / Journal Article

学術雑誌論文 / Journal Article

紀要論文 / Departmental Bulletin Paper

会議発表論文 / Conference Paper

一般雑誌記事 / Article

会議発表用資料 / Presentation

学位論文 / Thesis or Dissertation

報告書 / Research Paper

図書 / Book

図書の一部 / Book

その他 / Others

DublinCore

Journal Article

Thesis or Dissertation

Departmental Bulletin Paper

Conference Paper

Presentation

Book

Technical Report

Research Paper

Article

Preprint

Learning Material

アイテム登録

実験対象: 1) 学術雑誌論文 / 博士論文 (但し、デフォルトタイプ(学術雑誌論文)のメタデータ項目のみ)
2) 個別登録のみ (他のリソースからのメタデータ取り込み、識別子付与等は省く)

Top WorkFlow Communities

ToDo Wait All

No.	Updated	Activity	Item	WorkFlow	Action	Status	User
1	2019-10-08	A-20191008-00001		test1	Item Registration	Doing	info@inveniosoftware.org
2	2019-10-08	A-20191008-00002		test1	Item Registration	Doing	info@inveniosoftware.org
3	2019-10-08	A-20191008-00004	High LET Radiation Overcomes In Vitro Resistance to X-Rays of Chondrosarcoma Cell Lines	test1	Item Registration	Doing	info@inveniosoftware.org

+ New Activity

- どのWorkflowからもNew Activity(新規アイテム登録)が可能
- Activity Noが自動付与される



Top WorkFlow Communities

No.	WorkFlow	Item Type	Flow	
1	test1	学術雑誌論文 / Journal Article	Registration Flow	+ New

◀ Back


アイテム登録

登録必須項目:

- アイテムタイプ
- 公開日
- タイトル
- 言語

入力可能項目:

JPCOARスキーマ採用により
増加

Item  Determination of Relative Frequency of Carbanion Formation at α -Positions of Ketones under Aldol Reaction Catalysis Conditions

Item Type	学術雑誌論文 / Journal Article(2)
公開日	2019-09-01
タイトル	en Determination of Relative Frequency of Carbanion Formation at α -Positions of Ketones under Aldol Reaction Catalysis Conditions
言語	eng
作成者	
書誌情報	
日付	
関連情報	
ファイル情報	

変更点: 1) メタデータ登録の際の公開日設定がカレンダーからの入力となる(公開日はアイテム詳細画面で表示される)

2) 言語設定: タイトル以外でも可能(参加館のニーズに合わせてカスタマイズ可能) → 設定がやや複雑

確認事項: メタデータ登録→インデックス指定→承認→登録完了の各プロセスが問題なく実行できた

改善点: メタデータ項目の表示方法やデザイン、画面推移等に課題が残る

新JAIRO Cloudの画面について

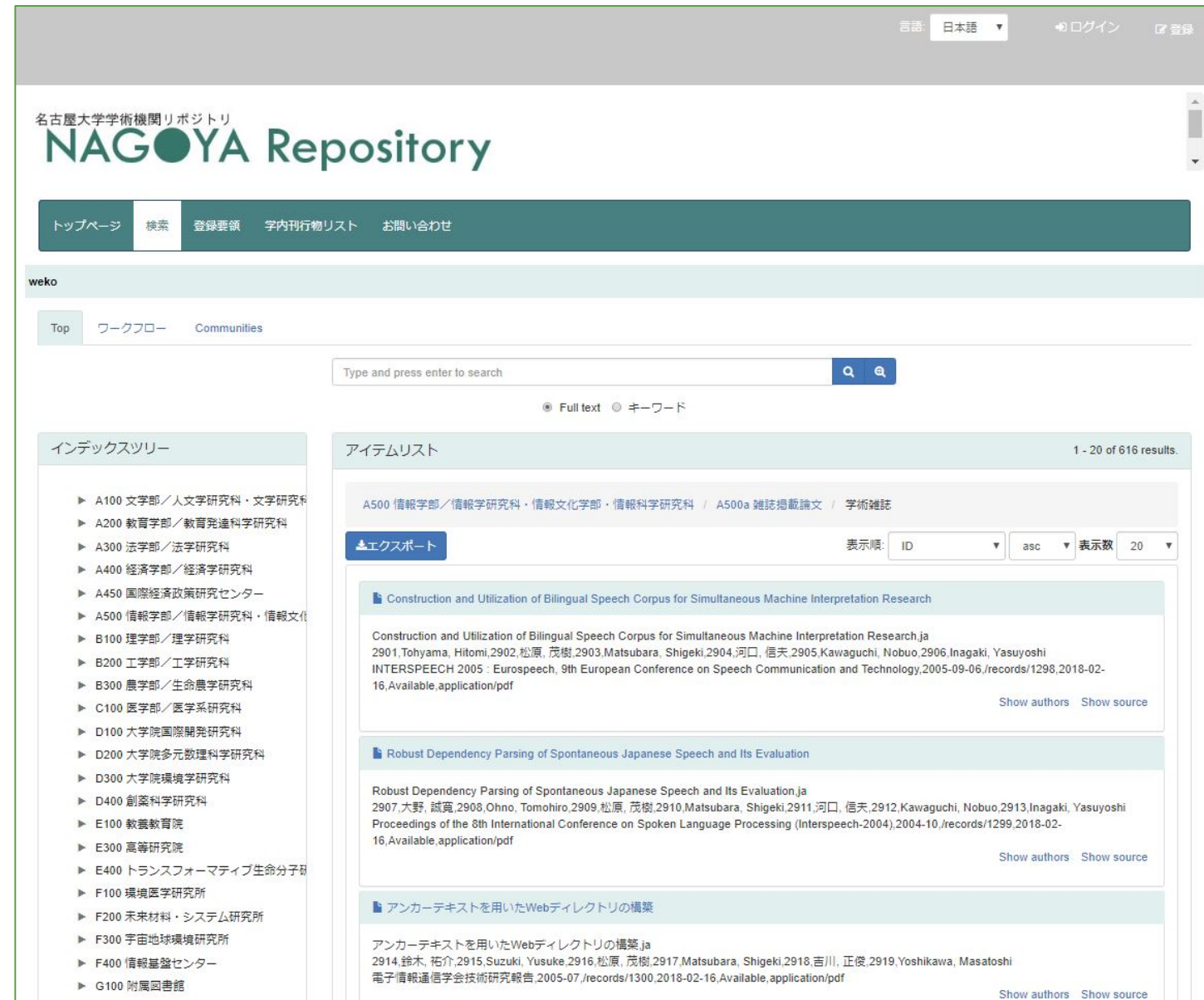
・画面デザインの Before After

現JAIRO Cloudの画面を
新JAIRO Cloudで再現してみました！

現JAIRO Cloud(WEKO2)の検索画面例



新JAIRO Cloud(WEKO3)の検索画面例



・画面デザインの構築ツール

1. Widget (Webパーツ)を作成

WEKO

Communities < Widget

Files < 一覧 作成 編集 詳細

Item Types <

Items <

OAI-PMH <

Records <

Setting >

Author Management

Edit Tree

File Preview

Identifier

Index Journal

Index Link

Index Tree

Item Export

Items

Language

Log Analysis

Mail

Others

PDF Cover Page

Ranking

Search

Shibboleth

Site Info

Site License

Sitemap

Stats

Style

WebAPI Account

Widget

Repository* Root Index

Type* Free description

Language* 日本語 (Registered)

Name* NAGOYA Repositoryへの研究成果の登録について

Theme Simple

Label Enable ☒

Label Color

Label Text Color

Background Color

Enable ☒

Free description

Sans Serif Normal B I U A 漢 x₂ x² H L 99 < > 1234567890

HTML

名古屋大学の研究者の皆さま

附属図書館長

日頃から附属図書館の活動にご理解とご協力をいただきありがとうございます。
NAGOYA Repository (名古屋大学学術機関リポジトリ) は、学内で生産された電子的な研究成果を、名古屋大学として責任を
し、学外に向けて無料で公開するものです。
研究者の皆さまにとっては、ご自分の成果をより多くの読者に届けることが可能になります。また名古屋大学にとっては、国
たし、より社会に貢献することができるようになります。そのため、全学事業として構築を進めているところです。
NAGOYA Repository構築への、ご支援、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

記

各登録要領にしたがって、登録依頼をしてください。
・学術雑誌論文・会議録・教材その他
・博士學位論文
・特許権・商標権・著作権・意匠権・実用新案権・発明権・特許権・商標権・著作権・意匠権・実用新案権・発明権

Save Cancel Delete



2. 作成したWidget の配置を決定

WEKO

Communities < Widget Design

Files <

Item Types <

Items <

OAI-PMH <

Records <

Setting >

Author Management

Edit Tree

File Preview

Identifier

Index Journal

Index Link

Index Tree

Item Export

Items

Language

Log Analysis

Mail

Others

PDF Cover Page

Ranking

Search

Shibboleth

Site Info

Site License

Sitemap

Stats

Style

WebAPI Account

Widget

Widget Design

Repository* Root Index

Pages home + /

Widget List

<Free description> Usage Statistics E-mail Service Add Widget

<Notice> About NAGOYA Repository Add Widget

<Free description> Registration Request Add Widget

<Menu> top menu Add Widget

<New arrivals> New Arrivals Add Widget

<Free description> Registerable Outputs Add Widget

<Free description> News Add Widget

<Free description> top icon Add Widget

<Header>

Preview

<Header> Header

<Free description> top icon

<Menu> top menu

<Free description> News

<New arrivals> New Arrivals

<Notice> About NAGOYA Repository

<Notice> Link

※Widgetは、Weko2画面デザインのモジュールに相当。一つのWidgetに日本語・英語表示を入力する等、操作方法に違いはあるが、Weko2同様に画面デザインの編集が可能

・移行したアイテムの詳細表示例

現行WEKO2の詳細表示レイアウトを踏襲しながら、共有機能、統計、ファイル出力情報、バージョン情報の右列に並ぶ配置

<検討課題>

- ・別言語タイトルやファイル情報等、メタデータの表示並び替えをしたい
- ・本文ファイルのハッシュ値は、この場所に必要か
- ・出力フォーマットにJSONが増えたが、TSVもしくはCSVのエクスポートもほしい
- ・作成者の著者IDがそのまま表示されるが、リンクになるとよい

⋮

次スライドに続く

アイテム

G100 附属図書館 / G100a 雑誌掲載論文 / 学術雑誌

医学部図書館における医学史資料の保存と活用：「近代医学の黎明デジタルアーカイブ」と展示会

Permalink : <https://w3-nagoya.ir.rcos.nii.ac.jp/records/18785>

プレビュー

名前 / ファイル	ライセンス
Japanese_journal_of_the_history_of_biology_Gamoh.pdf 	
 Japanese_journal_of_the_history_of_biology_Gamoh.pdf (533.2 kB) sha256: 2aadd8f8c30b2e96ffa30d8e99ff59ddb7708365cc2fbf703eab8c0bd3a39e92	

アイテムタイプ	学術雑誌論文 / Journal Article(1)
公開日	2014-11-28
タイトル	
タイトル	医学部図書館における医学史資料の保存と活用：「近代医学の黎明デジタルアーカイブ」と展示会
言語	ja
言語	
言語	jpn
主題	
主題 Scheme	Other
主題 Scheme	Other
言語	en
作成者	
作成者識別子	
作成者識別子	54839
作成者姓名	
姓名	蒲生, 英博
書誌情報	
雑誌名	
タイトル	生物学史研究
雑誌名 (英)	

1

views

total

詳細を確認

バージョン

Ver. 1 2019-11-01
07:31:12.179363

Show All versions

共有





Cite as

医学部図書館における医学史資料の保存と活用：「近代医学の黎明デジタルアーカイブ」と展示会, 2014.

Start typing a citation st

エクスポート

OAI-PMH
 junii2
 JPCOAR
 DublinCore

Other Formats
 JSON BIBTEX

前スライドからの続き

- ・ja, en等の属性名と値が
同じ表示スタイルであるため、
区別しやすくしたい
- ・Creative Commonsライセンス
4.0バージョン対応はどう行うか
- ・書誌情報の表示は、欄で分けて、
雑誌名、巻、号、ページ等の
項目ラベルをつけたい
- ・アイテム詳細画面の場合、
htmlの<title>タグにアイテムの
タイトル情報をいれたい

等々...

→ 只今、検討中です

言語	en
開始ページ	64
終了ページ	68
巻	91
日付	
発行年	
日付	2014-11
日付タイプ	Issued
出版者	
出版者	日本科学史学会生物学史分科会
収録物識別子	
収録物識別子	0386-9539
収録物識別子タイプ	ISSN
出版タイプ	
出版タイプ	VoR
ファイル情報	
本文URL	
本文URL	/records/18785
日付	
日付タイプ	Available
日付	2018-02-21
フォーマット	application/pdf
公開ステータス	公開

< 戻る

その他の機能について

その他の機能について、ピックアップ

- 要望事項例
 - 検索結果のノイズ対応
 - 言語を指定したトップページのURL指定
 - インデックスツリー編集画面における新規インデックスの追加位置変更
 - ほか
- 不具合の指摘及び対処例
 - 移行評価環境への接続不具合について対処
 - 詳細検索の画面デザイン崩れ
 - ほか

おわりに

今後とも新JAIRO Cloudの向上に向け、尽力していきます
ぜひ、リリースを期待してお待ちください